

# V 林業

## 1 林産物等紹介

### 鳥取県産材について

鳥取県は、慶長杉に代表されるように八頭郡で古くからスギが造林され、智頭林業、若桜林業として全国に知られ、良質の杉材を生産している。一方、大山地域を中心として、松の良林が多く、大山アカマツとして、良質の松材を生産してきたが、近年は、松くい虫の被害により、生産量が激減している。

また、戦後、日野地域を始め県内各地で造成された人工林が育ち、利用時期を迎えている。

### 素材生産量と全国シェア（令和元年）

区 分	鳥 取 県			全 国 実 数	1 位	2 位	3 位
	実数	順位	シェア				
合計 (千㎡)	258	25	1.2%	21,883	北海道 (15.2%)	宮崎県 (9.1%)	岩手県 (6.9%)
針葉樹	233	26	1.2%	19,876	北海道 (13.9%)	宮崎県 (9.8%)	岩手県 (6.2%)
スギ	180	19	1.4%	12,736	宮崎県 (14.6%)	秋田県 (8.9%)	大分県 (7.4%)
ヒノキ	45	23	1.5%	2,966	高知県 (7.7%)	熊本県 (7.6%)	岡山県 (7.6%)
マツ等	8	19	0.2%	4,174	北海道 (64.5%)	岩手県 (12.4%)	長野県 (8.0%)
広葉樹	25	19	1.2%	2,007	北海道 (28.3%)	岩手県 (14.0%)	福島県 (5.6%)

資料：木材需給報告書

### 鳥取県の特用林産物

中山間地域の貴重な収入源として、きのこ栽培をはじめ、炭、わさび、山菜類など多くの特用林産物が生産され、地域の就労と定住に大きな役割を果たしている。

きのこ、山菜、炭などは、近年の地産地消や、健康志向の高まりから、生産意欲の向上と安定的な供給が期待されている。

代表的な特用林産物：乾・生しいたけ（県下全域で生産）、エリンギ・きくらげ類・オガ炭（全国で上位の生産量）

### 主な特用林産物の生産量と全国のシェア（令和元年）

区 分	鳥 取 県			全 国 実数(t)	1 位	2 位	3 位
	実数(t)	順位	シェア				
乾しいたけ	17.6	16	0.7%	2,414.4	大分県(39.3%)	宮崎県(17.5%)	熊本県(7.5%)
生しいたけ	280.1	38	0.4%	71,070.5	徳島県(11.6%)	北海道(9.5%)	岩手県(6.0%)
エリンギ	409.3	※	1.1%	37,634.6	長野県(39.8%)	新潟県(33.6%)	※
きくらげ類	135.8	※	5.9%	2,315.2	※	※	※
オガ炭	1,543.4	※	23.8%	6,480.7	※	※	※

資料：令和元年特用林産基礎資料

※ 調査対象者数が2以下のものは秘匿措置により数量非公表のため不明

### 主な特用林産物の出荷先

しいたけ：県内及び東京市場  
生しいたけ：県内及び東京市場  
エリンギ：県内及び東京都・広島県

きくらげ類：県内及び全国  
オガ炭：県内及び全国



## 2 林業の概要

本県の森林は259千haで、県土の約74%を占める。また、民有林の55%がスギ・ヒノキなどの人工林（124千ha）で、そのうち約8割が、間伐等の手入れが必要な60年生以下の森林である。

最近では、森林の持つ水源のかん養、土砂流出等の災害防止、地球温暖化防止及び保健休養の場の提供などの公益的な働きが注目されている。



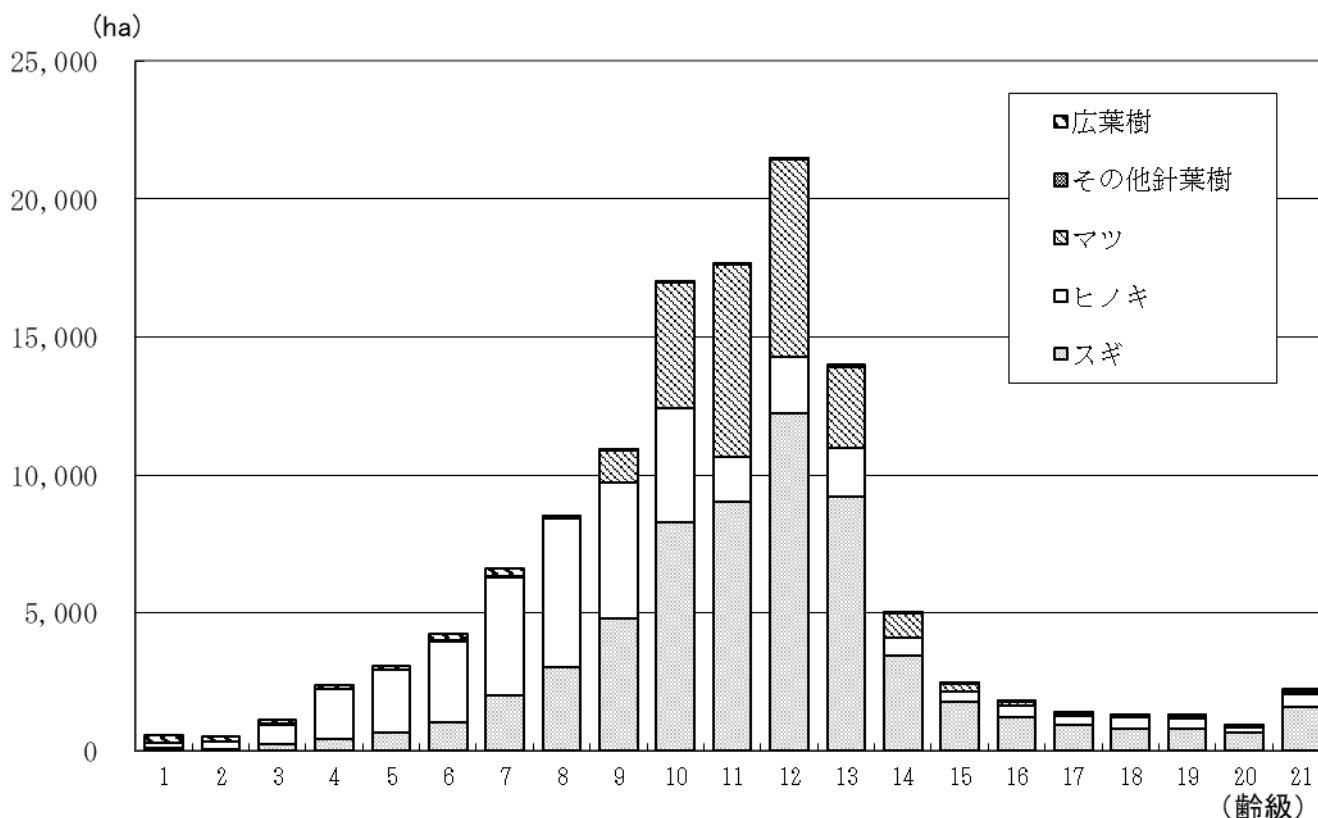
### 鳥取県の森林面積（平成29年）

単位：千ha

区分	総面積	林野面積	林野率	内訳		
				国有林	民有林	民有林の人工林率
鳥取県	351	259	74%	32	227	54%
全国	37,798	25,048	66%	7,659	17,389	46%

資料：総面積は、国土交通省国土地理院「令和元年全国都道府県市区町村別面積調（10月1日時点）」。その他は、林野庁「森林資源の現況」  
注：四捨五入の関係で内訳と合計は一致しないことがある。

### 民有人工林面積の構成（令和元年度）



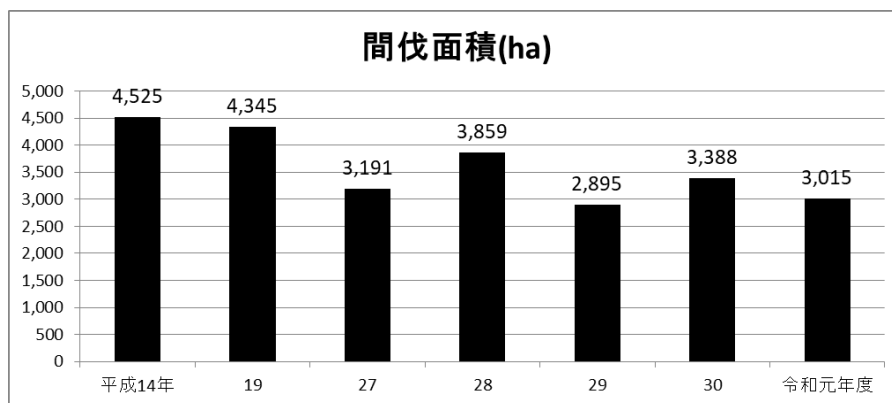
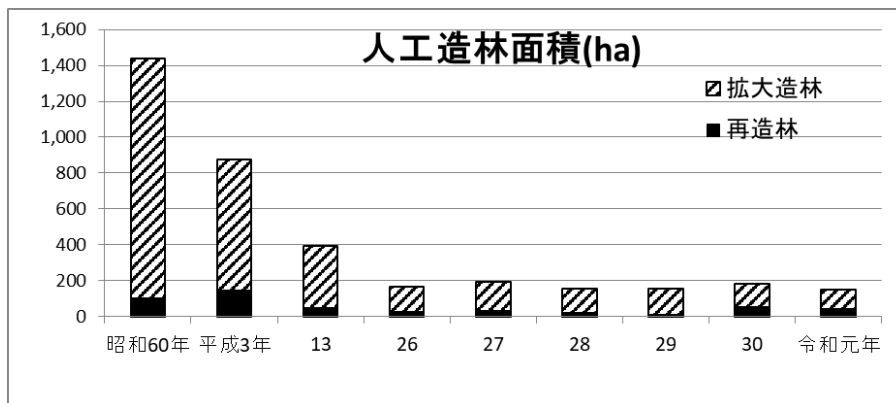
資料：「鳥取県林業統計」

### 3 森林の整備・保全

#### 森林の整備

民有人工林の主な樹種別内訳は、スギ 62 千 ha、ヒノキ 35 千 ha であるが、スギで 88%、ヒノキでは 36%が標準伐期齢を超えており、「造り育てる林業」から「間伐で収穫・利用する林業」へ移行しつつある。

しかしながら、林業採算性の低下と森林境界の不明瞭化等による放置森林の適正管理及び約 2/3 を 7～11 齢級が占めている人工林面積の平準化のための再造林による森林の若返りの推進を図り、森林の公益的機能の発揮と有用かつ多様な資源の育成管理が課題となっている。



資料：鳥取県森林・林業振興局調べ

#### 森林の保全

森林の公益的機能の維持・向上、安心・安全な生活環境の保全のため、保安林の改良・整備、予防・復旧治山事業の実施、森林病虫害対策に取り組んでいる。

#### 保安林の現況（令和元年度末）

単位：ha

区分	林野面積	保安林	1～3号保安林			4号以下保安林	林野面積に対する比率
			水源かん養	土砂流出防備	土砂崩壊防備		
総数	258,676	136,850	121,445	10,612	2,268	2,524	52.90%
民有林	227,338	106,501	93,678	8,459	2,266	2,097	46.85%
保安林種別構成比		100.00%	87.96%	7.94%	2.13%	1.97%	
国有林	31,338	30,349	27,767	2,153	2	427	96.84%

資料：森林・林業振興局調べ

注1：兼種保安林の指定面積は、上位保安林種面積に計上

注2：林野面積は、平成30年度末数値（林業統計による）

## 森林病虫害被害と対策

単位：材積=m<sup>3</sup>、面積=ha、本数=本

区分		昭和 55	平成 4	14	26	27	28	29	30	令和元
松くい虫 被害木駆除	被害材積	119,929	26,200	39,517	14,374	11,230	4,644	6,795	2,971	3,304
	駆除材積	109,215	17,718	13,118	4,668	3,755	2,249	1,408	1,708	1,716
松くい虫 薬剤防除	被害面積	21,552	27,400	15,098	10,495	7,738	4,770	2,917	3,014	3,163
	防除面積	4,680	9,997	5,376	1,447	1,360	1,313	1,269	1,264	1,264
ナラ枯れ 駆除	被害面積	-	-	-	928	2,262	4,750	5,086	4,086	4,752
	駆除本数	-	-	-	5,557	11,704	8,118	6,534	5,006	4,660

資料：森林・林業振興局調べ

## 治山事業の実績（令和元年度）

単位：千円

事業 区分	復旧治山	海岸 防災林	奥地 保安林 保全	水源の里 保全	保安林 改良	保安林 保育	予防治山	林地荒廃 防止	漁場保全 森づくり	単県斜面 崩壊復旧	単県治山 維持修繕	計
箇所数	14	1	1	0	2	9	3	9	0	4	10	53
事業費	554,391	9,804	38,857	0	15,429	21,271	109,305	316,401	0	4,529	26,109	1,096,096

資料：森林・林業振興局調べ

## 森林と人とのふれあい

平成 25 年 5 月 26 日に開催した「第 64 回全国植樹祭」を契機に、「美鳥（みどり）の大使」による環境保全活動を開始し、県民の方々とともに「第 30 回全国都市緑化フェア」や「エコツーリズム国際大会 2013in 鳥取」へ承継するなど、県民の方々とともに「とっとりグリーンウェイブ」の輪を全国に展開した。

今後も、全国植樹祭の後継事業として位置付けている鳥取県植樹祭の開催を通して、森林の役割や大切さ、健全な森林育成のための木材利用の重要性等について情報発信し、植樹活動等により広く森林づくり活動に県民参加を呼び掛けるほか、次代を担う若者である「みどりの少年団」に地域由来の苗木を育てていただく体験活動等を企画するなど、とっとりグリーンウェイブの発信・展開を進める。

また、県内 25 カ所の「共生の森」において 19 企業・団体が社会貢献活動として森林整備に取り組んでおり、森林の活用を進め、多くの県民が集う場として地域の賑わいを創出する。

## 4 木材需給と木材産業

### 木材需給

県内の素材生産量は 305 千 m<sup>3</sup>（平成 17 年の 244%）であり、合板、木質バイオマス等の需要増により増加傾向にある。

また、木材産業については、製材品の出荷量は昭和 55 年の 8%、製材工場数は昭和 55 年の 19%と、いずれも減少傾向が続いている。このような状況の中で、事業者による低コスト林業や県産材製品の品質向上・販路拡大への取組みが始まっており、普及啓発とあわせて取組みの支援を実施している。

#### (1) 樹種別素材生産量

(単位：千m<sup>3</sup>)

年次	区分	総数	針葉樹					広葉樹			
			総数	スギ	ヒノキ	マツ	その他	総数	ナラ	ブナ	その他
昭和	50	309	220	113	44	63	-	89	7	3	79
	55	308	240	109	39	90	2	68	1	3	64
平成	60	321	226	91	28	106	1	95	5	2	88
	2	265	174	84	27	63	-	91	5	-	86
	7	192	159	75	25	59	-	33	3	-	30
	12	132	110	53	18	38	1	22	2	-	20
	17	125	102	66	11	25	-	23	3	-	20
	20	170	149	109	18	22	-	21	4	-	17
	21	167	153	113	20	16	4	14	4	-	10
	22	207	189	146	19	24	0	18	4	-	14
	23	198	174	144	17	13	0	24	6	-	18
	24	208	189	152	24	12	1	19	3	0	16
	25	231	211	170	28	13	0	20	4	0	16
	26	239	225	189	26	10	0	14	4	0	9
	27	273	256	207	40	8	1	17	7	0	10
28	279	259	192	45	10	12	20	8	0	11	
29	290	275	210	47	8	10	15	4	0	11	
30	305	284	216	52	5	10	22	1	-	21	
令和	元	305	279	216	42	8	13	26	3	-	23
元年 内訳	国有林	8	8	8	0	-	-	-	-	-	-
	公有林	21	21	12	8	1	-	0	-	-	0
	私有林	277	251	196	34	8	13	26	3	-	23

資料：平成 17 年までは木材需給報告書、平成 18 年からは森林・林業振興局調べ

注：四捨五入の関係で内訳と合計は一致しないことがある。

(2) 材種別素材需要量

(単位：千m<sup>3</sup>)

年次	区分	総数	国産材			外材				
			総数	自県材	他県材	総数	南洋材	米材	北洋材	その他
昭和	50	688	300	237	63	388	82	119	174	13
	55	660	279	248	31	381	96	119	161	5
	60	512	275	246	29	237	45	71	113	8
平成	2	469	215	188	27	254	49	102	99	4
	7	319	145	119	26	174	42	70	59	3
	12	366	109	77	32	257	41	37	165	14
	17	389	92	72	20	297	0	19	253	25
	20	455	155	111	44	300	-	54	246	-
	21	390	181	115	66	209	-	90	60	59
	22	502	231	138	93	271	-	212	12	47
	23	532	221	136	85	311	-	290	4	17
	24	720	340	165	175	380	0	344	0	36
	25	678	362	206	156	316	0	280	0	36
	26	676	417	189	228	259	0	※	※	39
	27	684	439	209	230	245	0	※	※	※
	28	712	494	206	288	218	-	※	※	-
	29	776	563	216	347	213	-	※	※	-
	30	782	611	241	370	171	-	※	※	24
令和	元	782	632	244	389	150	-	※	※	23
元年	製材用	83	80	63	16	4	-	※	※	-
	木材チップ用	198	198	106	93	-	-	-	-	-
	合板用	497	351	73	278	146	-	123	-	23
	その他用	4	4	2	2	-	-	-	-	-

資料：平成17年までは木材需給報告書、平成18年からは森林・林業振興局調べ ※は非公開  
注：四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

(3) 製材工場の推移

(単位：動力出力数 KW, 就業人数 人, その他は千m<sup>3</sup>)

年次	区分	工場数	動力出力数	就業人数	素材入荷量	素材消費量	製材品生産量	製材品出荷量
昭和	55	228	15,494	2,502	500	478	342	342
	60	196	14,908	1,462	362	355	256	256
平成	2	165	12,991	1,133	323	319	215	215
	7	141	11,299	1,061	228	224	150	150
	12	108	11,106	772	163	162	102	102
	17	85	9,329	499	117	117	70	70
	20	65	6,437	342	75	75	49	49
	21	56	5,083	263	54	54	35	35
	22	52	4,886	235	61	54	34	34
	23	50	4,508	234	54	53	32	32
	24	51	4,098	228	51	51	31	31
	25	50	4,109	245	54	55	33	33
	26	49	4,174	242	52	47	31	31
	27	46	4,020	238	57	58	35	35
	28	43	3,967	221	50	50	30	30
	29	44	4,115	-	53	51	27	27
	30	43	3,938	-	※	44	24	24
令和	元	44	4,540	-	※	45	26	26

資料：木材需給報告書 ※は非公開

(4) 木材チップ、合板、集成材工場の推移

(単位：木材チップ 千t、合板原木消費量 千m<sup>3</sup>、  
就業人員 人、集成材生産量 m<sup>3</sup>、合板生産量 千m<sup>3</sup>)

年次	区分	木材チップ			合板				集成材		
		工場数	就業人員	生産量	工場数	就業人員	原木消費量	生産量	工場数	就業人員	生産量
昭和	55	47	120	117	2	308	63	12,023			
	60	33	78	127	2	254	35	6,243			
平成	2	28	67	125	1	※	※	※			
	7	20	40	80	1	※	※	※			
	12	13	22	56	1	※	※	※			
	17	12	15	39	1	※	※	※	1	※	※
	20	11	21	37	1	※	※	※	1	※	※
	21	9	22	32	1	※	※	※	1	※	※
	22	10	21	34	1	※	※	※	1	※	※
	23	10	21	30	1	※	※	※	1	※	※
	24	10	15	32	1	※	※	※	1	※	※
	25	10	23	36	1	※	※	※	1	※	※
	26	9	31	27	1	※	※	※	1	※	※
	27	7	27	55	1	※	※	※	1	※	※
	28	6	28	75	1	※	※	※	1	※	※
	29	4	-	94	1	※	※	※	1	※	※
	30	4	-	118	1	※	※	※	1	※	※
令和	元	4	-	96	1	※	※	※	1	※	※

資料：木材需給報告書  
※合板、集成材の数字については非公開

(5) 新規住宅着工戸数の推移

(単位：戸)

年次		昭和 55	平成 2	7	12	17	22	23	24	25	26	27	
区分		総戸数	4,991	6,068	5,626	5,115	4,168	2,140	2,367	2,101	2,435	2,454	2,549
内訳	内	木造	3,407	2,899	2,999	2,349	2,225	1,665	1,708	1,563	2,020	1,938	1,833
	内訳	在来軸組		2,310	2,461	1,804	1,633	924	963	852	1,201	933	935
		その他		589	538	545	592	741	945	711	819	1,005	898
		非木造	1,584	3,169	2,627	2,766	1,943	475	659	538	415	516	716
木造率		68.3%	47.8%	53.3%	45.9%	53.4%	77.8%	72.2%	74.4%	83.0%	79.0%	71.9%	

年次		平成 28	29	30	令和元	
区分		総戸数	2,857	2,805	2,957	2,616
内訳	内	木造	2,003	2,170	2,302	2,102
	内訳	在来軸組	957	1,578	1,436	1,719
		その他	1,046	592	866	383
		非木造	845	635	655	514
木造率		70.1%	77.4%	77.8%	80.4%	

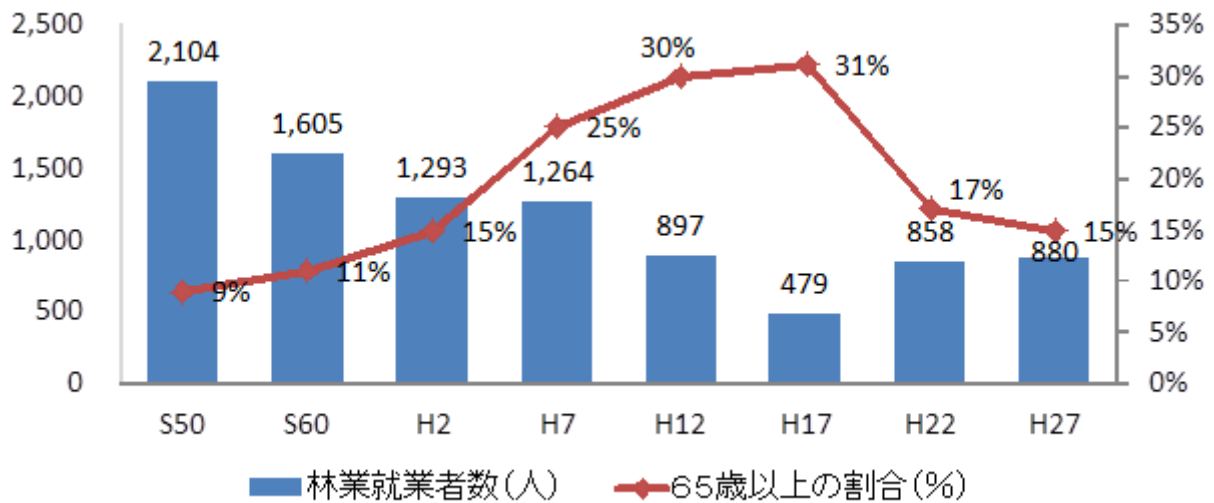
資料：建築着工統計調査報告

## 5 林業の担い手と生産基盤の整備

### 担い手

林業就業者数は長期的に減少傾向にあり、平成27年は880人で平成7年に比較すると70%に減少している。さらに、65歳以上の従事者数の全就業者に占める割合は、平成27年時点で15%となっており、全産業の高齢化率よりも高い水準にある。

### 林業就業者数の推移



資料：総務省「国勢調査」

### 生産基盤の整備

令和元年度末における民有林林道の総延長は1,076kmで、林道網整備計画の目標林道延長の43.2%となっている。今後も森林整備の推進、生産コストの低減及び山村地域の振興を図るため、林道の整備を推進するとともに、間伐対象森林の団地化、高密度路網の整備、機械化を通じた林業の低コスト化を推進する。

### 林内路網の整備状況

#### (1) 整備目標と現況(令和元年度末現在)

林道密度(m/ha)		林道延長(km)		整備進捗率(%)
目標	現況	目標	現況	
11.3	4.7	2,491	1,076	43.2

注：林道密度、林道延長の目標値は、「民有林林道網整備計画」(H28策定)による。

#### (2) 鳥取県の林内路網密度(令和元年度末現在)

森林面積 (A) (ha)	林内道路延長(km)					林内路網密度 (B/A) (m/ha)
	公道	林道(自動車道)	林道(軽自動車道)	作業道	計(B)	
227,338	2,384	1,076	123	2,820	6,403	28.2

資料：森林・林業振興局調べ。作業道は一時的な利用を目的としたものを除いた延長。